

同志社創立 150 周年記念

私立大学環境保全協議会 第 38 回夏期研修研究会 プログラム

日時 【第 1 日】 2025 年 8 月 28 日 (木)

特別講演、研修講演(ライブ配信予定) 13:00~15:20

グループ討議 15:40~17:10

情報交換会 17:30~19:00

【第 2 日】 2025 年 8 月 29 日 (金)

グループ討議 9:30~11:00

講演(ライブ配信予定) 11:20~12:20

キャンパス見学会 12:30~13:30

※各講演を除き、オンサイト開催となります。文字通訳、場内誘導、座席の確保等について、特別な配慮をご希望の方は、申込時にお申し出ください

会場 同志社大学今出川校地

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町 103 (寒梅館)

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 (良心館)

【アクセス】

京都駅より京都市営地下鉄烏丸線(国際会館方面)約 10 分、今出川駅下車徒歩すぐ



【講演会場】 今出川駅 2 番出口より烏丸通り北進すぐ

㊦寒梅館・B1F ハーディーホール <<室町キャンパス>>

【グループ討議会場】 今出川駅 1 番出口より直結

㊦良心館・4F <<今出川キャンパス>>

【昼食利用可能 学内食堂 (予定)】

㊦寒梅館 1F アマーク・ド・パラディ、7F french restaurant will

㊦良心館 B1F 生協食堂



今出川校地への
交通アクセス

※キャンパス内は全面禁煙です。

※ハーディーホール内は、ペットボトル類以外の飲食はできません。

第1日

【8月28日（木）】

寒梅館ハーディーホール
司会：私立大学環境保全協議会 理事 倉元隆之

1. 開会挨拶 13:00～13:10 私立大学環境保全協議会 会長 菅原 義之
2. 開催校挨拶 13:10～13:20
同志社大学環境保全・実験実習支援センター所長 大江 洋平
3. 特別講演 13:20～14:10（50分間）

「希望を耕す ラーニングガーデンと学生の自然観」

同志社大学社会学部教育文化学科准教授 ビリー・スティーブソン

ガーデン・ベースド・ラーニングは、人類史上最も古い学習形態の一つである。その目的は文化や時代によって様々だが、自然と人間形成を学ぶための教育法として、今もなお受け継がれている。しかし、ガーデン・ベースド・ラーニングが実践されるのはいつでもどこであれ、ほとんどの場合、幼児教育や初等教育の文脈においてである。五年前、私はガーデン・ベースド・ラーニングが、ほとんど実践されていない集団、つまり日本の大学生にどのような影響を与えるかを探るべく出発した。この講演では、長年にわたり、私と学生ガーデナーたちが学んだことを共有し、ガーデン・ベースド・ラーニングがより広範な高等教育にどのようなメリットをもたらす可能性があるかを考察する。

◇休憩・デモ展示見学（20分）◇

4. 研修講演 14:30～15:20（50分間）

「持続可能な地域づくりの視点からの資源化技術」

同志社大学理工学部環境システム学科教授 赤尾聡史

環境省が掲げる「地域循環共生圏」にも示されるように、地域の資源は地域持続の原動力の一つとなり得ます。特に、資源の特性が優れ、資源化された材料に市場性がある場合には、行政の支援がなくとも資源循環の仕組みが自律的に機能すると期待されます。しかし実際には、そのような優れた資源が地域に多く存在するわけではなく、地域資源を活用していくには工夫が求められます。話者は、地域内 GDP を高める資源化、地域内で利用できる材料を提供する資源化、つまり、地域内でより多くの人々が関与する資源化の仕組みが重要であると考えます。本講演では、ある資源化方法について、地域内 GDP をどれだけ高められるかを、環境省が頒布する「地域産業連関表」を用いて試算結果を示します。また、地域内の資源を地域内で消費し、域外への支出を抑える資源化事例やその検討事例を紹介します。

◇ 休憩・デモ展示見学（20分） ◇

5. グループ討議 15:40～17:10（90分間） 良心館 408, 409 教室、429～434 教室
オンサイトのみ

※Ⅰ～Ⅲグループから一つ選択してご参加ください。

Ⅰ：教育と連携「地域と大学の連携・協働による地域のソーシャル・イノベーション」

地域と大学、学生の連携・協働による、SDGs 実現のための地域のソーシャル・イノベーションについて、同志社大学の中島恵理教授のご研究や実践例をもとに、討議します。

II：化学物質「新たな化学物質規制体系に向けた対応について」

前回までのグループ討議で取り上げた、化学物質規制体系の見直しについて、新たな情報等をもとに、以下の6つのグループに分かれて、テーマに応じた意見交換などを行うことを予定しています。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| A：法改正概要について（基礎的内容） | B：化学物質アセスメントの実務について |
| C：化学物質管理体制について | D：化学物質のばく露軽減措置について |
| E：化学物質にかかる安全教育について | F：実験系廃棄物管理について |

III：施設・設備「再生可能エネルギー100%キャンパス実現に向けた課題と解決策」

再エネ 100%キャンパスの実現に向けた課題とその解決策を、先進事例の紹介、実務者視点での討議、参加者同士の意見交換を通じて深掘りします。

◇ 移動（20分） ◇

- | | | |
|-------------------------|-------------------|---------------|
| 6. 情報交換会 | 17:30～19:00（90分間） | 寒梅館アマークドパラディー |
| オンラインのみ | | |

第2日

【8月29日（金）】

司会：私立大学環境保全協議会 理事 倉元 隆之

- | | | |
|-------------------------|-------------------|----------------------------|
| 1. グループ討議 | 9:30～11:00（90分間） | 良心館 408, 409 教室、429～434 教室 |
| オンラインのみ | （前日より引き続き討議を行います） | |

◇移動（20分）◇

- | | | |
|-------|-------------------|-------------|
| 2. 講演 | 11:20～12:10（50分間） | 寒梅館ハーディーホール |
|-------|-------------------|-------------|

「京都ならではの地域脱炭素モデルの構築」

京都市環境政策局地球温暖化対策室脱炭素地域創出促進部長 川崎 明浩

京都市では、1997年の京都議定書の誕生を契機に、全国初の地球温暖化対策に特化した条例の制定をはじめ、先進的に地球温暖化対策に取り組んできました。京都市の地球温暖化対策のこれまでの歩みと、市民に一番近い基礎自治体として、脱炭素社会の実現に向けて現在どのように取組を進めているのかについて、京都市地球温暖化対策条例及び計画に基づく主な取組や、文化遺産や大学が多く立地するなど京都の特徴も踏まえた脱炭素先行地域の取組を紹介します。

- | | | |
|-------------------------|-------------|-----------------------|
| 3. 講演総括 | 12:10～12:20 | 私立大学環境保全協議会 副会長 松澤 秀則 |
| 4. キャンパス見学会 | 12:30～13:30 | |
| オンラインのみ | | |